

平成 1 8 年度

都市局予算要求方針

- 目 次 -

1	平成18年度都市局予算要求総括表	1
	【一般会計】	
	【特別会計】	
2	18年度予算要求にあたっての基本的考え方	3
3	予算要求の重点事項	4
	(1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ	
	(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ	
4	事務事業の総点検	6
	(1) 事務事業の見直し	
	(2) 受益者負担	

1 平成18年度都市局予算要求総括表

【一般会計】

(単位：百万円)

区 分	平成17年度 予 算 額 A	平成18年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
市街地整備部	13,995 (2,811)	10,006 (3,267)	3,989 (456)	28.5% (16.2%)
建築部	70 (70)	866 (748)	796 (678)	1,137.1% (968.6%)
建築指導部	92 (248)	104 (76)	11 (172)	12.0% (69.4%)
合 計	14,158 (2,989)	10,976 (2,595)	3,182 (394)	22.5% (13.2%)

1 ()内は一般財源額

2 本表は百万円単位のため、増減額及び増減率が一致しない場合がある。

【特別会計】

(単位：百万円)

区 分	平成17年度 予 算 額 A	平成18年度 要 求 額 B	増 減 額 B - A	増減率 (B - A) / A
土地区画整理会計	8 , 4 1 8	7 , 1 4 8	1 , 2 7 0	1 5 . 1 %
団地造成会計	1 4 7	1 3 5	1 2	8 . 2 %

2 18年度予算要求にあたっての基本的考え方

1 魅力と活力あふれるまちづくりの推進

厳しい財政状況の中、より公共公益性の高い事業を優先し、予算配分の重点化を図る。

活力に満ちあふれた都市の発展を目指し、調和のとれた良好な市街地整備を進めるため、都市再開発事業や土地区画整理事業による総合的なまちづくりを推進する。

2 誰もが安心して暮らせる住まいづくりの支援

市民に対し、低廉で良質な住宅を提供するため、計画的な公的賃貸住宅の整備を推進する。

少子高齢社会に対応し、高齢者や障がい者をはじめ市民が安心して暮らせるための住宅の普及を促進する。

3 既存公共建築物の維持管理と長寿命化

既設公共建築物に関する建物評価の実施、保全計画の策定を総合的に進め市有建築物を適正に維持管理する保全システムを構築する。

市有建築物の長寿命化を目指し、計画的な修繕への移行と予算の一元化を図る。

3 予算要求の重点事項

(1) 健やかに暮らせる共生の街さっぽろ

1 魅力あふれる地域づくりの推進

170百万円(96百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 菊水上町地区住環境整備事業(市街地整備部) 170百万円【新まち等】

菊水上町地区の住環境と防災性の向上のため、関係部局と調整を図りながら地域住民とのまちづくり勉強会を開催し、進行中の地区内の骨格道路整備に合わせて街区内道路の整備を行う。

2 地域での高齢者・障がい者の自立支援の促進

292百万円(278百万円)

注:()内は17年度予算額

ア 既設市営住宅バリアフリー化事業(市街地整備部) 4百万円【新まち等】

既設の市営住宅について、エレベーターの設置の検討など高齢者や障がい者が安心して住んでいられるバリアフリー化に向けた取組みを推進する。

イ 民間活力の活用による公的住宅供給事業(市街地整備部)

281百万円【新まち等】

低所得者や高齢者が適正な家賃で住むことができる良質な賃貸住宅を供給するため、民間活力をいかした借上市営住宅や高齢者優良賃貸住宅の供給を進める。

ウ 住まいのプラットフォーム推進事業(市街地整備部) 7百万円【新まち等】

プラットフォーム運営委員会を設立し、高齢者の住まいやマンション管理に関する講座及びセミナーの試行を行い、事業実施における課題を抽出し、住まいのプラットフォームの運営体制のあり方、事業内容及び実施方法を検討する。

(2) 世界に誇れる環境の街さっぽろ

1 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

835百万(21百万円)

注:()内は17年度予算額

- ア 環境共生型公共建築物基礎調査業務(市街地整備部) 3百万円【新まち等】
環境共生型公共建築物の整備に向けて、市有建築物の検証及び今後の方向性の検討を行う。
- イ 保全計画策定・市有建築物評価業務(建築部) 19百万円【新まち等】
札幌市の既設の公共建築物に関する建物評価の実施、保全計画の策定を総合的に進め、市有建築物を適正に維持管理する保全システムを構築する。
- ウ 市有建築物長寿命化推進事業(建築部) 813百万円【新まち等】
市有建築物の長寿命化を目指し、計画的な修繕への移行と予算の一元化を図る。

2 歩いて暮せる快適で美しい街の創造

1,300百万円(2,269百万円)

注:()内は17年度予算額

- ア 北8西3東地区再開発事業費補助・東札幌1条地区再開発事業費補助
(市街地整備部) 1,300百万円【新まち等】
既成市街地の再生、都心部の活性化や都心周辺部の居住促進を図るために、民間活力を活かして建物・敷地の共同化や、公共施設の整備などを一体的に推進する再開発事業を支援・促進する。

4 事務事業の総点検

(1) 事務事業の見直し

内部効率

一般事務費の節約や、効率的な執務による時間外勤務手当等の抑制

<見直し額 118百万円>

(2) 受益者負担

平成18年4月から市営住宅使用料及び駐車場使用料を改定

<見直し額 205百万円>